

# 「医学物理」 執筆要項

2009年9月改訂

## 1. 体裁および構成

- (1) 原稿はワープロソフトを使用してA4用紙に横書きで印字してください。和文の場合、1ページあたり40行、1行あたり40字を目安として印字してください。英文の場合、ダブルスペースで印字してください。
- (2) 1ページ目に表題、2～3ページ目に要旨、4ページ以降に本文および文献とし、図・表についてはA4用紙に1図、1表ずつ別紙とします。その他、別紙の投稿票を添付してください。

## 2. 表題

原稿の1ページ目に、表題、著者名、所属機関名称を書きます。表題はなるべく簡潔に記載してください。

和文投稿の場合、和文と英文の両方で表題、著者名、所属機関名称を記載します。

英文投稿の場合、英文で、表題、著者名、所属機関名称を記載します(和文は不要)。

例: 英文「Development of a Portable Graphite ……」

Makoto Sakama<sup>1)</sup>, Tatsuaki Kanai<sup>1),2)</sup> and Akifumi Fukumura<sup>2)</sup>

1) Division of ……, Tokyo Institute of Technology

2) Center for ……, National Institute of Radiological Sciences

和文「グラファイトカロリメータを用いた……」

坂間誠<sup>1)</sup>、金井達明<sup>1),2)</sup>、福村明史<sup>2)</sup>

1) 東京工業大学 大学院……研究科

2) 放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター

## 3. 要旨

「研究論文」、「技術報告」については、2～3ページ目に英文要旨(Abstract)をつけます。

「資料」については、英文要旨は任意としますが、英文要旨がある場合のみMEDLINEへの登録を行います。なお「資料」で英文要旨が無い場合のみ、和文要旨を記載してください。

要旨ページは、Title, Keywords, Abstract の構成になります。2ページ以降を査読審査原稿として扱うため、ここに「著者名、所属機関名称」は記載しないでください。

「Keywords」は英文で5個以内、「Abstract」は200 words 以下とします。

## 4. 本文

- (1) 本文の原稿には、ページ番号と行番号を付記してください。

・本文は原稿用紙の4ページ目から書いてください。(要旨が2ページ目しかない場合でも、(空白ページを挿入し)4ページ目から書いてください)。各ページの下中央にページ番号を付記してください。

・各ページには行番号を付記してください。(マイクロソフトの「Word」の場合、「ページレイアウト」-「行番号」-「ページごとに振り直し」を選択すれば自動的に行番号が付記されます。)

- (2) 章の見出しは、1.、2.、3.、…と番号をつけて、次の行から本文を書きます。

節の見出しは、1. 1.、1. 2.、…、項の見出しは1. 1. 1.、1. 1. 2. ……と番号をつけます。

- (3) 本文は常用漢字、新仮名遣いを原則とします。専門用語については日本医学物理学会が発行している最新の「医学物理用語集」を基本とし、その他については学会等で一般に用いられているものを用います。また一般化している外来語についてはカタカナ表記としますが、人名や日本語になりきっていない専門用語については原則として原綴りで書いてください。
  - (4) 数字は算用数字を用い、単位は国際単位系(SI)を原則とします。
  - (5) 括弧は、(・・)、{ (・・) }、[ { (・・) } ] の順とします。
  - (6) 本文原稿は簡潔かつ分かりやすく書き、説明が冗長にならないように注意してください。なお複雑な式の変換等で別途に説明を要する場合、本文中で記載せずに「Appendix」として本文の最終ページに挿入してください。
  - (7) 本文の典型的な構成は、「1. はじめに(Introduction)」、「2.方法 (Materials and Methods)」、「3. 結果(Results)」、「4. 考察(Discussion)」、「5. 結論(Conclusion)」となります。但し論文の内容によって若干の構成変更は構いませんが、いずれの場合も、研究の目的・結果・学術的な新規性等を簡潔に表現できるようにしてください。
5. 謝辞(Acknowledgements)を記載する場合、本文原稿の中には含めないで下さい。別紙1枚に記載してください(査読審査原稿から外すためです)。なお謝辞については投稿時の原稿にはなくても、掲載採択が決定した後に提出していただく印刷用原稿の時点で、本文に引き続いて追記することも認めます。

## 6. 文献

- (1) 文献の引用は、本文の引用箇所の出現順に通し番号で、1), 2), ……を付けてください。本文中では、上付き文字で記載します。文献のリストは、本文の末尾に一括して記載します。
- (2) 文献は、一般に入手可能・検索可能な公刊文献に限ります(社内資料、カタログ、未発表論文、公刊されていない学位論文などは、文献として引用できません)。
- (3) 文献は、著者名(上位3名、和文の場合は姓・名、英文の場合は Family name のあとに Last name の頭文字)、論文タイトル、雑誌名、巻、ページ(最初-終わり)、発行年(西暦)の順で記載してください。雑誌名についてはその雑誌に記載されている省略誌名または慣用されている省略誌名を使用します。その他、下記の例に準じて記載してください。

例1) Kanai T, Endo M, Minohara S, et al.: Biophysical Characteristic of HIMAC clinical irradiation system for heavy ion radiation therapy. *Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.* 44: 201-210, 1999

例2) 藤崎達也、平岡武、斎藤秀敏、他: 光の影響を考慮した水等価ファントムの試作. *日医放会誌* 62: 86-91, 2002

例3) Rietzel E, Chen GTY: 4D imaging and treatment planning. In: Brady LW, Heilmann HP, Molls M eds, *New technologies in radiation oncology*. 81-98, 2006, Springer, Germany

例4) 日本医学物理学会: 高エネルギー光子線の線量測定. 外部照射線治療における吸収線量の標準測定法(標準測定法 01). 35-68, 2002, 通商産業研究社, 東京

例5) (インターネット上の文献; WWW ページ名あるいは文書名など).

<http://www.XXXX.com/yyy/bbb.htm> (accessed September 4, 2009)

## 7. 図(写真を含む)、表

- (1) 図(写真を含む)および表は、1 図、1 表ずつ別紙にします。またその際の台紙は A4 サイズとします。
- (2) 図は、図1、図2、…(Fig.1、Fig.2、…)のように、表は、表1、表2、…(Table 1、Table 2、…)のように本文中での出現順に通し番号を付けます。台紙の右隅にこれらの番号を記載します。

- (3) 図、および表の中の文字は、英文とします。 但し和文での「資料」原稿の場合のみ、図・表の中の文字は和文を認めます。
- (4) 図、表の説明文は、英文とします。 但し和文での「資料」原稿の場合のみ、和文を認めます。 説明文は、図・表とは別紙にまとめ、図・表の番号順に書きます。 実際には、ワープロソフトを用い、本文、文献のページに続いて記載してください。
- (5) 図および表は、パソコン用のワープロソフトやグラフ作成ソフト等を用いて作図し、それらを PDF 形式、または Microsoft-Power Point 上に張り付けた形式として作成してください。写真やフィルム画像についても、スキャナや電子ファイルを用いて、上記の形式で作成してください。
- (6) 原図の大きさおよび図・表内の文字や記号サイズは、刷り上がりで高さが 2mm 程度になるような大きさで作成してください。「医学物理」誌は、A4 サイズ 2 段組みを基本に校正しています。従って図・表の横サイズは、2 段組みの 1 段の幅が 1 単位になり、1 単位または 2 単位の横幅が標準となります。この条件で、十分に識別できる文字・記号のサイズにしてください。
- (7) 論文の内容からカラー表示が必須である場合を除いて、原則はモノクロ(グレースケール)です。 グラフ作成や写真等の貼り付けにおいては、モノクロとして識別できるように作成してください。 カラー印刷については著者に別途料金を請求しますが、カラー表現の必然性がない場合にはモノクロでの刷り上がりをお願いする場合があります。

## 8. 投稿論文の撤回

査読を経て修正などのために著者の手許に返された論文が、3ヶ月を経過しても修正回答されなかった場合には、原則としてその論文は撤回されたものとみなします。但し著者から編集委員長に修正期間等の延長の申し出があり、その理由が編集委員会で妥当と判断された場合、期限を設けて延長することができます。

## 9. その他

初回の投稿時、投稿者は自分の論文を査読してほしい者を3名まで推薦できます。ただし著者(共著者を含む)と同じ所属機関(大学、研究機関等)の者は推薦できません。また推薦者は日本医学物理学会の会員であることが望ましいですが、研究分野によって適切な該当者がいない場合は会員以外の推薦も認めます。なおこれらの推薦は、編集委員が査読候補を検討する際の参考にするものです。

## 10. 投稿にあたって

投稿から学会誌掲載までは、著者と編集事務局の間で、概ね下記のような手順を進みます。

- ① 初回投稿時:「投稿票、プリントアウトした原稿セット(1部)、電子ファイルの CD-ROM」を編集事務局へ郵送。
- ② 編集事務局から著者へ: 原稿受理の連絡メール。
- ③ 編集事務局から著者へ: 査読コメント文書の PDF 版をメールで通知します。
- ④ 再投稿の場合: 著者は修正原稿の PDF 版を編集事務局へ、メール(または CD-ROM)で送付します。
- ⑤ 採否の通知: 編集事務局から PDF 版文書をメールで通知。
- ⑥ 校正可能な原稿(例: Word 版の文書、PowerPoint 版の図表)を、メール(または CD-ROM)で編集事務局へ送付します。
- ⑦ 編集事務局から著者へ: 刷り上がり校正原稿を郵送します。
- ⑧ 印刷の校正は初稿に限り著者校正とします。著者は校正に責任を持ち、かつ至急に対応してください。またこの段階での文章、図、表の削除、追加等は許されません。

⑨ 著者から編集事務局へ;校正原稿の返送と一緒に、別刷り等の申し込みをします。

(④と⑤、または⑤と⑥の間に、学会負担による英文校正の作業・修正があります)

注) ②～⑥については、可能な限り、メールでの連絡で作業が進むように協力をお願いします。

送付先: 医学物理学学会編集事務局

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19

(株)国際文献印刷社内 「日本医学物理学学会」編集事務局

E-mail: jsmp-edit@bunken.co.jp

TEL: 03-5389-6492 FAX: 03-3368-2827

\*\*\*\*\* 査読について \*\*\*\*\*

- (a) 研究論文、技術報告については、編集委員が推薦する2名(査読 A、査読 B)に査読を依頼します。会員への依頼を原則としていますが、分野によって適切な該当者がいない場合、会員以外にお願いする場合があります。査読報告は編集委員で判断し、採否の判定、あるいは著者へ再投稿を依頼します。査読者間で査読の判断が大きく異なる場合、3人目の査読 C に頼む場合と、A・B のいずれか片方の査読報告のみを採用する場合があります。
- (b) 資料については、編集委員1名と査読者1名とで、採否の判断・修正チェックを行います。
- (c) 総説については、修正等のチェックを編集委員で行います。
- (d) その他の投稿原稿(ニュース・意見等)・開催案内の掲載依頼等については、編集委員長で採否を判断しますが、必要に応じて他の編集委員に頼む場合があります。
- (e) 筆頭著者が学生(学士、修士、博士課程に在籍)の場合の投稿論文については、特に教育的な配慮を持ってコメント等を頂けるよう査読者にお願いしています。但しこれには査読をされる方の協力が必須であり、査読についても学会員としての参加・協力をお願いいたします。

以上、

日本医学物理学学会 編集委員会